

## 第4回 湖西市地域公共交通会議 会議録

日 時：平成31年3月28日（木） 15時00分～

場 所：市民活動センター 2階大会議室

出席者：22人

|     |                       |                       |
|-----|-----------------------|-----------------------|
| 会長  | 田中 伸弘                 | 湖西市副市長                |
| 副会長 | 佐原 秀直                 | 湖西市企画部長               |
| 座長  | 伊豆原 浩二                | 愛知工業大学 客員教授           |
| 委員  | 小野田 剛久<br>(代理：小林 廉)   | 遠州鉄道株式会社 運輸業務部長       |
| 委員  | 大久保 公雄<br>(代理：良知 正規)  | 浜松バス株式会社 代表取締役        |
| 委員  | 杉浦 一徳                 | 遠鉄タクシー株式会社 営業本部長      |
| 委員  | 平野 隆広 (欠席)            | 天竜浜名湖鉄道株式会社 常務取締役     |
| 委員  | 平野 洋一 (欠席)            | (社)静岡県バス協会 専務理事       |
| 委員  | 久保田 素広                | 中部運輸局静岡運輸支局 首席運輸企画専門官 |
| 委員  | 田中 友親                 | 遠州鉄道 労働組合 副執行委員長      |
| 委員  | 大倉 篤<br>(代理：石田 正國)    | 静岡県 交通基盤部 地域交通課長      |
| 委員  | 井倉 基                  | 静岡県 浜松土木事務所 維持管理課長    |
| 委員  | 日内地 昭広<br>(代理：佐々木 秀喜) | 静岡県湖西警察署 交通課長         |
| 委員  | 竹島 清一                 | 湖西市自治会連合会 会長          |
| 委員  | 杉浦 徹衛                 | 湖西市老人クラブ連合会 会長        |
| 委員  | 佐藤 幸夫                 | 湖西市社会福祉協議会 会長         |
| 委員  | 佐原 功一郎 (欠席)           | 湖西市商工会 副会長            |
| 委員  | 渥美 博之                 | 新居町商工会 事務局長           |
| 委員  | 佐々木 由美子               | 市民委員                  |
| 委員  | 小笠原 昌之                | 市民委員                  |
| 委員  | 山本 渉                  | 湖西市 健康福祉部長            |
| 委員  | 内山 賀津高                | 湖西市 都市整備部長            |
| 事務局 | 疋田 行彦                 | 湖西市 企画部 市民協働課長        |
| 事務局 | 佐原 敬                  | 湖西市 企画部 市民協働課 公共交通係長  |
| 事務局 | 伊藤 明生                 | 湖西市 企画部 市民協働課 公共交通係主任 |

配付資料：会議次第

平成 30 年度第 4 回湖西市地域公共交通会議委員名簿

(資料 1) 平成 30 年度計画推進事業の実施状況について

(資料 2) 平成 30 年度地域公共交通確保維持改善事業 第三者評価委員会の評価、報告について

(資料 3) 知波田地区におけるデマンド型乗合タクシーの検討について

(資料 4) 特別運賃割引き（夏休み小学生 1 乗車 50 円バス）の実施について

(資料 5) 地域公共交通網形成計画の中間評価等支援業務の実施予定及び事業者選定について

(資料 6) 白須賀地区におけるデマンド型乗合タクシーに係る評価及び今後の方針について

(資料 7) 「平成 30 年度湖西市バス運行評価改善報告書に係る見直しを検討する便に関する基準」に基づく事業展開の現状報告及び今後の事業展開について

## 1 開会

## 2 会長挨拶

年度末のお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。本日は市内の新たな地区からデマンド型乗合タクシーの申し入れがありましたので、そのご報告をさせていただきます。また、前回・前々回の会議で「コーちゃんバスピンチ」ということで、市民の方々に利活用を呼び掛けてきた結果についてご報告をさせていただきます。そして、その結果を受けまして、一部見直しをする便もありますので、この後事務局からご説明を差し上げます。

また今回は、白須賀地区のデマンド型乗合タクシーの評価や今後の方針について等、全部で7件の議事がございますので、多くの議事の進行について、ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

## 3 報告事項

### (1) 平成30年度計画推進事業の実施状況について

<事務局>

- 資料説明（資料1）

質疑なし

### (2) 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業 第三者評価委員会の評価、報告について

<事務局>

- 資料説明（資料2）

<座長>

- 事業効果の評価について、今後につながる判断をできる評価にしてほしい。また、周辺の市町と連携した、交通圏としての視点も含めてこれから議論してほしい。

### (3) 知波田地区におけるデマンド型乗合タクシーの検討について

<事務局>

- 資料説明（資料3）

<委員>

- 資料にある「地域協議会」は、知波田地区連合会と同じものと捉えてよいのか。
- デマンド型乗合タクシーの検討について、地域協議会だけで話が進むものなのか、住民まで巻き込んで話を進めていくものなのか。
- 白須賀地区と同じプロセスで進むと思われるが、白須賀地区では目標に届いていない現状があるので、同じ道をたどってしまわないかという懸念がある。

<事務局>

- これから規約や要綱等を作成していくことを考えている。
- 子育て世代なども含め年配者に偏らないよう、自治会長に意見を集約してもらう形としている。

<委員>

- 知波田地区で提案があったことで話が進んでいるが、他の地区でも手を挙げたら進められるのか。

<事務局>

- 白須賀地区や知波田地区の公共交通空白地域を優先的に進めさせていただく。この2地区がある程度形になれば他地区も考えていく。

<座長>

- 要望があればやるということがいけないわけではないが、地元の皆さまとどういう物なら利用できるか等、勉強しながら作り上げていかなければ、うまくいかないのではないかと。
- 公共交通空白地域ではない地域も白須賀地区ではデマンドを走らせているが、今後そのようなバスと重複する地区が出てくる可能性は大きいため、整理しておく必要があると思う。

<委員>

- 地元住民への説明が7月からとあるが、少し遅いように感じる。

<事務局>

- 地域協議会での検討と並行して4月以降に進めていくようにする。

## 4 協議事項

(1) 特別運賃割引（夏休み小学生1乗車50円バス）の実施について

<事務局>

- 資料説明（資料4）

<委員>

- 平成30年の利用実績が大幅に減少している理由は掴んでいるか。

<事務局>

- 昨年の猛暑の影響により、出歩く人数が減ったのではないかと推測している。

<委員>

- 「やる気ッズ」という取り組みが無くなった影響ではないか。

<委員>

- 目標の10%増の根拠は何か。

<事務局>

- 少しでも利用者を増やすということで、10%と設定している。

<委員>

- 目標値についてかなり遠慮した数字になっていないか。昨年度までは300人を超えているため、300人程度の目標とした方が良いように思う。

<委員>

- 乗り方教室の対象が2年生である理由は何か。やるのであればたくさんの生徒を対象とした方が良いのでは。

<事務局>

- 小学2年生の授業の一環として実施しているためである。

<座長>

- 交通安全にとどまらず、防犯の観点からも、夏休みに1人で外出してはいけないという注意をされていないか。保護者同伴であれば外出できるならば、保護者の方へのPRが必要であると思う。

<事務局>

- 保護者にも届くようなチラシを配布してPRしていきたいと思う。

<委員>

- 学校経由だけではなく、PTAを通じた方が保護者により届けられると思うし、子ども会なども情報提供する場としては有効だと思う。

<座長>

- 料金割引についての事項ですので、皆さまの決をとります。今まで頂いたご意見を含めていくことを前提にご了承いただけたということでよいか。

<一同>

- 異議なし

(2) 地域公共交通網形成計画の中間評価等支援業務の実施予定及び事業者選定について

<事務局>

- 資料説明(資料5)

<座長>

- 中間評価をしたうえで、運行計画の各項目について検討するということだが、この内容だと中間評価というイメージがつかない。この2つの事業はどのようにリンクしているのか。
- 平成30年度の評価改善委員会で次年度実施することを決めていると思うが、その時の評価と今回の中間評価とは何が違うのか。

<事務局>

- 地域公共交通網形成計画の実施事業の中に路線再編の項目があり、それに向けた運行計画の作成を行う。中間評価については、5か年計画の3年目に実施するものであるため、事業としては別の物であるが、評価結果と路線の再編運行計画との間でリンクしているものはあると考えている。

<座長>

- 発注側がしっかりしておかないと、この事業の成果としてよいものがないと思うので、もう一度しっかりと作業内容を整理してほしい。
- 作業内容についても一度整理してしっかりとしたものにするということで、ご理解いただけたものとしてよいのか。

<一同>

- 異議なし

(3) 白須賀地区におけるデマンド型乗合タクシーに係る評価及び今後の方針について

<事務局>

- 資料説明（資料6）

<委員>

- なぜ世帯登録者数が伸びなかったのか、なぜ乗合率が低かったのか、そのなかで利用者満足度が高いのはなぜか、ということの評価することが重要であると思う。

<事務局>

- 世帯登録者数については、白須賀地区の第3・第4地区を追加した段階で落ちてしまった経緯があります。乗合率については乗合交通システムという認識を高めるため、呼びかけを引き続き行っている状況である。
- 世帯登録者数・乗合率ともに少しずつではあるものの改善している。登録者数については若者世代の登録に課題があると考えている。また、乗合率についてはモデルルートなどを掲載したチラシを配布し、改善を図った結果、わずかながら改善したものと思われる。

<委員>

- 利用者の満足度は73%で高く出ているものの、利用者数などが伸びないのはなぜか。
- 周知方法について、回覧板方式では効果が薄いと思うので、住民と直接かかわれる集会などでの宣伝がよいと思う。

<委員>

- 地域と協力した取組みの中身は何か。

<事務局>

- 自治会や民生委員との会合及び町内会や組ごとでの説明を行っている。
- 毎日利用される方が少なく、月に1～2回利用される方が多いことが、満足度が高く利用者数が少ないという状況の実態だと考えている。

<委員>

- 最初は数値がよくないのは常だと思うが、予約締め切り時間を30分前までに改善するなどして、段々利用の数値も改善しているように思う。また、配車や運行ルート of 改善も含めていくことで、数値の改善が進んでいくと思う。

<座長>

- 役所の説明だけではなく、地域の方々の口コミを広げていただく取組みを頑張っていくことが大切だと思う。地域の方同士の情報交換が進むような仕組みづくりをお願いしたい。

<委員>

- 資料について、2. 評価結果で目標値に達していないが、増加傾向にある、と文章で書くならば、数字もそのように並べていただきたい。
- 停留所となる施設が増えるということは、利便性が上がる一方で乗合率が下がる要因となるが、どのくらい利用するのかということを把握しているか。また、利用されていない施設があるならば、指定施設から外すことも合理化として考えていくべきではないか。

<事務局>

- デマンド型乗合タクシーの利用結果報告を受けており、どこの地区のどのような施設にどのくらい利用しているかを、施設の種別ごとに整理し、手持ち資料としている。その中で、これまでで利用者が1名というバス停が存在することは把握している。

<座長>

- どういうところに行く便において乗合率が低いのか。

<事務局>

- 9時～10時の便を往路とした便が多く、11時半～13時頃の便を復路とした便が多いことが分かっています。朝に病院へ行き、鷺津地区で買い物をして、昼過ぎに帰るというパターンが考えられます。その中で、復路の乗合率が低いということだと推測している。

(4)「平成 30 年度湖西市バス運行評価改善報告書に係る見直しを検討する便に関する基準」に基づく  
事業展開の現状報告及び今後の事業展開について

<事務局>

- 資料説明（資料 7）

<委員>

- 本当に利用されている方からのチラシを見た反応はあったのか。

<事務局>

- 第 1 回会議に 8 月～11 月の利用促進について、その後も 12 月からの利用促進についてチラシ等で周知を進めた結果、市民からのご意見等はなかったため、周知が進んでいるものと考えている。

<委員>

- チラシの内容は真っ当なことが書かれているものの、少々衝撃的であったために、なかなか配りにくいという声を聞いた。表現がもう少し上手な言い回しにならなかったか。

<事務局>

- 皆さまに意識を持っていただくべく、インパクトのある見出しとさせていただいた。その旨をご理解いただきたい。

<座長>

- コーちゃんバスを上手に利用する会とは相談したか。
- 廃止の議論の始点には事業費の削減ということもあったかと思うが、この見直しによって事業費はどの程度削減されるのか。

<事務局>

- チラシについては相談していないが、内容については 9 月に会の中で説明し、乗り方の説明等の PR を進めるべきだという声もいただく一方、利用者が伸びなければ、見直しに対して容認する声もあった。
- 年間 120 万円ほどの事業費が削減されることとなる。

## 5 その他

<事務局>

- 平成 30 年度の湖西市公共交通会議は今回で最後となるため、来年度以降の委嘱については後日連絡する。
- 来年度より機構改革により、公共交通会議を担当する部署が産業部産業振興課となる。なお、事業自体の変更等はない。

## 6 閉会

＜事務局＞

- 以上をもって、平成 30 年度第 4 回湖西市地域公共交通会議を終了とする。

以上